

風土記の丘の花だより⁸⁶

今、そしてこれから見られる植物(2021年5月15日)

早くも梅雨入りした地域があるそうです。今年は何もかも早いですね。アジサイのつぼみが日に日に大きくなっています。そろそろ雨の季節でしょうか、

アジサイに似た白い花が目立つようになりました。ガマズミの花です。白い小さな



花がたくさん集まって、一つの大きな花のように見えています。万葉植物園、旧谷村家住宅、修復古墳付近の斜面をはじめ、あちらこちらで白い花はよく目立っています。去年の観察記録を見ると5月13日の欄に「今まさに見頃。花盛り」と記されています。サクラは早く咲きましたが、この花は例年通りに満開になりました。もうすぐ、たくさんの虫たちで賑わいます。



ツツジはほとんど終わりましたが、サツキツツジが咲き始めました。「皐月・さつき」というだけあって5月に満開を迎えます。写真のようなピンクの他に白や赤など様々な園芸品種がありますが、山に自生するのはオレンジ色のものが多いです。でもこの山ではまだ見かけたことはありません。



この花も白くてよく目立ちます。これはマルバウツギです。「なんとかウツギ」という木は何種類もありますが、それらがみんなウツギ、いわゆる「うの花」の仲間ではありません。ウツギは「空つ木・うつろな木」のことで、枝が中空になっている木によくそんな名前が付けられます。同じくウツギと付くハコネウツギは旧柳川家の南側や、北側の池の畔で紅白の花を咲かせています。



旧小早川家の庭にユキノシタがきれいに咲いています。花ひとつひとつを見るとこんな特徴のある形をしています。下の花びらの大きさが際立っています。また、上の花びらには小さな赤斑があります。小さい花なのにとても魅力のある花です。日陰と湿気を好み、庭の隅のジメジメしたところや、日の当たりにくい山道の際などに群生します。

松下